

「こどもまんなか熊本」新ウェブサイト構築業務委託 仕様書

第1章 概要

1. 目的・背景

本事業は、結婚・子育て支援施策等の情報発信における現状・課題を踏まえ、現行の結婚・子育て応援サイト「hapi モン」(以下、「hapi モン」という。)の全面リニューアルを行い「こどもまんなか熊本」(※1)の実現に向けたこども・子育て施策の効果的な情報発信を行うことを目的にしている。

本県の現状として、既存の結婚・子育て支援施策等に関する県民の認知度が、10%(※2)前後と低く、周知・広報が十分に行き届いていない状況にある。

また、こども・子育て施策に関する情報が「hapi モン」や熊本県 HP に散在しており、県民にとって必要な情報を取得しにくい状況にある。

これらの現状・課題に対応するため、「こどもまんなか熊本」に関する情報を一元的に集約することに加え、ライフステージ別や市町村別などの検索機能を設け、県民に必要な情報を届けやすくするなど、こども・子育て施策などの情報発信の強化を目的に実施するもの。

※1 「こどもまんなか熊本」とは、こども・若者がキラキラ輝き、県民が家庭や子育てに夢を持てる熊本であり、あらゆる立場の個人や組織、コミュニティ等が、こどもや若者、子育て当事者の視点に立ち、その最善の利益を第一に考えながら様々な取組みを実施する熊本である。

※2 令和7年(2025年)7月熊本県民意識調査
(熊本県在住の20~40代男女対象)

2. 委託費用に含まれる経費

- ・委託事業の実施に必要な諸経費(消費税等を含む)
- ※備品の取得は、対象外とし、パソコン等の汎用性が高い電子機器を使用する場合は、リース契約等に対応すること。

3. 委託期間

- ・契約締結の日から令和9年(2027年)3月31日(水曜日)

4. 公開時期・実施スケジュール

- ・新ウェブサイトは、令和9年(2027年)3月下旬に公開を予定しており、受託者は公開に合わせた計画を策定し、進捗管理・定期共有を行うこと。

第2章 業務内容

サイト基盤要件

1. 新規ドメインの取得

- ・自治体向けドメインを新規取得し、取得に係る費用はすべて受託者が負担すること。
- ・hapi モンの既存ドメインからのリダイレクトを必須とし、新ウェブサイト公開後も2年間は既存ドメインを保持し、リダイレクトを実施すること。
- ・旧ドメインにアクセスした際に新ドメインに対応するURLに自動遷移すること。
- ・県民の認知向上に資する新ウェブサイト名（案）を提案すること。なお、新ウェブサイト名は、最終的に県が決定する。

2. サーバー環境

- ・公開に必要なサーバー環境を構築・設定すること。
- ・監視、バックアップ、障がい対応体制を提案すること。

3. セキュリティ

- ・WAF 導入、公開前の脆弱性診断、ログ管理、管理画面アクセス制御などの対策を実施すること。
- ・クラウド環境の設置場所は、日本国内のデータセンターとすること。取り扱うデータは日本国内のみでの管理とし、漏洩防止策を厳重に講じ、適切に管理すること。
- ・クラウドサービスを提供する事業者が、ISO/IEC 27001、ISO/IEC 27017、プライバシーマーク、ISMAPのいずれかの第三者認証を受けていること。
- ・本サービスの利用終了後は、保存されているデータを復元不可能な形で消去すること。
- ・サーバーを設置するデータセンターは、耐震、防火、落雷、防水、停電対策、空調設備が整った建物を要件とすること。また、ICカードや指紋認証、監視カメラ等による入退室管理などセキュリティ対策が行うこと。
- ・通信及び蓄積データに対して暗号化を行うこと。
- ・サーバー等システム機器について、適切にウイルス対策を行い、セキュリティ対策ソフトウェアのウイルス定義ファイル及びそのサーバーOSの更新プログラムを、即時性を考慮し適切なタイミングで更新すること。
- ・サーバーには、情報の漏洩又は改ざんを防ぐために、データに対するセキュリティ対策を行うこと。

- ・不測の事態に備えてバックアップを定期的を取得し、復旧することが可能な状態で運用をできるようにすること。
- ・以下のセキュリティ対策を講じること。なお、SSL/TLS証明書（EVまたはOV）の名義は熊本県とし、費用は受託者が負担するものとする。
 - a) クロスサイトスプリティング対策
 - b) SSL/TLSでの通信の暗号化に対応したシステムの構築
 - c) SQLインジェクション対策
 - d) 管理者ID等によるアクセス制限
- ・その他、実施するセキュリティ対策がある場合は、提案すること。

4. 多言語化

- ・英語・フランス語・中国語（簡体/繁体）・韓国語に対応すること。受託者が機械翻訳で翻訳し、自動生成型の多言語化サービスを導入すること。

5. 端末要件

- ・下記の利用者端末に対応すること。

<PC>

Internet Explorer11以降、MicrosoftEdge、Firefox、Safari、Opera、Google Chrome 各最新版

<タブレット、スマートフォン>

iPad および Android タブレットの標準ブラウザ 各最新版

iPhone および Android 等の標準ブラウザ 各最新版

デザイン・UX 要件

1. デザイン方針

- ・スマートフォンやタブレット重視（フューチャーフォン除く）のレスポンシブデザインとすること。
- ・図表等を除き横スクロールが発生しないようにすること。また、初期表示文字サイズは可読性を確保すること。
- ・熊本らしさを取り入れたデザインとすること。
- ・新ウェブサイトのロゴをデザインすること。

2. 素材

- ・写真・イラスト・ピクトグラム等を活用すること。素材は、原則受託者が準備すること。ただし、県も必要に応じて素材を提供する。

3. アクセシビリティ

- ・ JIS X 8341-3:2016 レベル AA 準拠とすること。「JIS X 8341-3:2016 試験実施ガイドライン」に基づく試験を実施し、結果を県に報告すること。
- ・ 全ページで読み上げ/拡大/配色変更に対応すること。全記事を対象に含め、チェック機能を必須とすること。
- ・ 原則として全数を確認とし、障害者差別解消法に柔軟に対応すること。

4. 参考サイト

- ・ 福岡県にここに家族づくりポータルサイト
(<https://kazoku.pref.fukuoka.lg.jp/>)
※デザイン、情報構成、導線設計、利用者視点での使いやすさなどの考え方は、上記のサイトを参考とすること。なお、先述したデザイン等の完全な踏襲を求めるものではない。

機能要件

- ・ 機能要件については、受託者の提案を踏まえ県が決定する。ただし、以下に掲げる機能等は必須要件とし、必ず実装すること。
また、これらに加え、ユーザーの利便性やサイト価値の向上につながる機能・仕組みについて、受託者は積極的に提案すること。
なお、担当職員の業務負担を軽減する仕組み、新ウェブサイトに掲載する情報の鮮度を最新に保つ手法は特に積極的に提案すること。

1. 検索機能

- ・ ライフステージ別検索、目的別検索、市町村別検索、選択式検索（よかボス/子育て応援の店/結婚応援の店/市町村/イベント）を実装すること。
- ・ 居住地、店舗種別などの条件選択で検索できるようにすること。
- ・ 県内市町村をマップで選択して、該当する自治体のライフステージに応じた各種支援施策を一覧で表示すること。

2. 電子申請機能

- ・ 対象：よかボス企業、子育て応援の店、子育て応援パスポート、結婚応援の店、まりっくまパスポート
- ・ 新規登録/変更/退会を電子申請で完結する仕組みを実装すること。ID/PW を付与し、県が介入しない自己再設定機能を備えること。
- ・ 登録者がログインした際に、定期的に登録情報の更新を促す仕組みを備えること。

- ・申請データは、CSV やエクセルデータにエクスポートできるようにすること。

3. イベント投稿

- ・企業等による投稿を可能とし、県の最終確認後に公開すること。

4. SNS 連携

- ・熊本県公式 SNS (Instagram 等) との連携すること。埋め込み表示・シェアボタン・公式 SNS への導線を整備すること。なお、対象/表示箇所は、提案・協議で決定する。

5. 人気ページ表示

- ・よく見られている支援・関連ページを表示すること。ただし、ロジック (集計指標・期間等) は提案とする。また、手動固定・優先表示を可能とすること。
- ・個人情報保護に配慮し、個人を特定しない形で集計/表示すること。

6. バナー広告

- ・県が指定する位置に掲載。表示数・表示順は変更可能とすること。

データ移行要件

1. 記事データ移行

- ・hapi モンの記事から県が指定する必要記事を移行すること (見込み: 約 4,000 ページ)。

2. 企業・店舗等データ移行

- ・よかボス企業、子育て応援の店、子育て応援パスポート、結婚応援の店、まりっくまパスポートの顧客情報を全件移行すること。
- ・移行するデータは、CSV 形式を想定。移行項目は、既存申込フォーム等を参照し受託者が整理すること。参考: <https://www.hapimon.jp/>

提案書に含める事項

- ・新ウェブサイト名 (案)
- ・情報設計 (サイトマップ)
- ・デザイン案 (ワイヤーフレーム可)
- ・システム構成案/セキュリティ対策案
- ・管理画面
- ・進捗管理方法・体制
- ・保守計画

- ・見積（本体）＋ 令和9年（2027年）4月～令和10年（2028年）3月の保守見積（別途）
- ・情報の鮮度を保つ仕組み
- ・担当職員の業務負担を軽減する仕組み

成果物

- ・新ウェブサイト（公開版）
- ・ホームページ設計書 1部（紙及び電子媒体）
- ・マニュアル 一式（紙及び電子媒体）
管理者向け（操作画面イメージ付き）、県民向け（登録・検索画面イメージ付き）等
- ・ウェブアクセシビリティ検証方法及び結果報告書 1部（紙及び電子媒体）
- ・サイトマップ（最終版）
- ・精算書（収支の内容が確認できるもの）
- ・業務完了報告書 1部（紙及び電子媒体）

その他

- ・本業務の遂行に当たっては、県と十分に協議を行いながら実施すること。ただし、打合せを短縮して実施できるよう、受託者で可能な限り内容を明確にするとともに、決定事項は受託者で記録を残し速やかに県に提出すること。
- ・原則として、受託者は、本業務に係る全部を第三者に再委託することはできない。ただし、県の承諾を得た上で、合理的に必要な範囲で本業務に係る一部を再委託することは妨げない。
- ・当委託業務契約により作成された成果品、契約の遂行過程で生じたすべての著作権は、すべて熊本県に帰属するものとし、受託者は熊本県の当該著作権に係る行為について著作権者人格権を行使しないものとする。なお、成果品については本業務以外であっても、複数年にわたり県及び関係機関が事業を行う際に使用することがあること。
- ・第三者が著作物を持つ素材を利用する場合は、受託者が著作権者の承諾を得て行うものとし、県が著作権を持つ素材の利用についても同様とする。なお、これらを怠ったことにより、著作権等の権利を侵害したときには、受託者は一切の責任を負うこと。
- ・本業務を通じて知り得た情報を契約の目的以外に利用し、又は第三者に漏らしてはならない。契約終了後も同様とする。特に、個人情報に関わる情報の取扱いについては、十分注意するとともに、県の指示に基づくものとする。
- ・委託者は、業務の実施に当たり、受託者が必要とする資料や情報等の提供について出来る限り協力する。
- ・業務の実施体制については、下記のとおりとする。
 - a) 業務全体を統括するための責任者を置くこと。

- b) 統括責任者は、業務執行に必要な要員を確実に手配すること。また、業務実施体制表を作成し、委託者へ提出すること。
- c) 統括責任者は、業務執行の進捗状況を常に把握し、定期的に委託者へ口頭もしくはメールなどで報告すること。
- d) 本業務の遂行にあたっては、社内でプロジェクトチームを立ち上げ、統括責任者を含め常時3名以上の複数人で対応できる体制を整えること。また、委託者と即時に連絡・相談ができる体制を構築すること。
- ・ 受託者の責任においてデータ漏えい、滅失毀損等の防止に努めること。
- ・ 別事業で別事業者が構築する簡易ウェブサイトを新ウェブサイトに埋め込むことを想定し、別事業者と適宜連携すること。
- ・ 委託業務の遂行にあたっては、随時、進捗状況の報告を行い、受託業務の円滑な遂行に努め、本仕様書に定めのない事項については、県と十分協議の上、決定すること。